

協議会だより

DHA・EPA協議会

〒151-0062

東京都渋谷区元代々木町 32-7

一般財団法人日本水産油脂協会内

TEL & FAX: 03-3469-6931

URL: <https://www.dhaepa.org/>E-mail: dha_epa@par.odn.ne.jp

今年のサンマは高い？安い？

マルハニチロ株式会社 今村 英雄

最近、毎年この時期になると話題にのぼります。今年はどうでしょう？

8月16日、北海道根室市の花咲港で今年のサンマの初水揚げがありました。出足は好調のようで、当日の根室市内の鮮魚店での値段は、1匹80円だったそうです。これを聞いて、今年こそ、久々においしいサンマを沢山食べられるぞ、と期待を持ちました。

が、たしかに、昨年と比べ豊漁のスタートを切ったようですが、実はこの日、東日本を台風8号が襲った日で、交通網が麻痺。水揚げされた魚を本州に届ける事が難しく、結果、産地周辺で消費されることとなり、ここ数年では珍しく、1匹100円を切るような値段がついたとの事。その後、本州各地でも初物を見る事が出来るようになりましたが、やはり、1匹200円～400円くらいはするようで…… 今後の水揚げに期待したいところです。

そもそも、なぜ、大衆魚と言われたサンマが獲れなくなってしまったのでしょうか。今年6月の週刊東洋経済の特集記事「いつまで魚を食べるのか 全解剖 日本の魚ビジネス」に興味深い記事が載っていましたのでご紹介します。

『一言で言うと、実質的な管理が出来ていない中での獲り過ぎ』

今年4月に北太平洋漁業委員会が開催され、資源管理に不可欠な今年度のTAC(漁獲可能量)について、日本・中国・台湾などの9か国で会議が実施された。そこで決まったのは、公海上におけるTACが前年度比10%減の13万5千トンで、これに日本の排他的経済水域(EEZ)内でのTACを合わせると全体では同10%減の22万5千トンまでの漁獲が可能、という内容。前年度も同25%減の25万トンで、削減は毎年のように決まっており、これだけを見ると水産資源を獲り過ぎないよう資源管理が進んでいるように見える。が、そもそも同年の漁獲量は12万トンしかなく、資源減少がとまらない中、実質獲り放題のままになっている。

削減という方向性は間違っていないが、抑制効果のない漁業管理で資源が回復するはずもなく、水準の高いTACの中での獲り放題状態が続けば、当然のことながら資源は枯渇していく。国民が資源管理の重要性に気付いておらず、サンマが獲れないのは、「海水温の上昇で、近海にサンマがいなくなった」とか「近隣諸国、特に中国の乱獲のせい」と責任転嫁しているようでは先行きは暗い。資源管理は深刻な問題ながら、すでに手遅れに近い状態にある。

以上となりますが、かなり先行きの厳しい状態となっているようです。政府が資源管理に舵を切ったわけですが、国民の理解がないとそれも進まず、魚が減る本当の理由を知り、科学的根拠に基づく資源管理を一刻も早く実施するように後押しすべき、と締めくくっています。

サンマに限らず、高嶺の花になりつつ魚が今後も増えていくのでしょうか。DHA や良質なタンパク質、カルシウムなどを含む栄養豊富で美味しい魚が食べられなくなっていくのはとても残念な事です。今一度、資源の大切さを意識しつつ、秋の味覚を味わっていききたいものです。

《幹事会のうごき》 令和6年7月5日(金)に本年度第4回幹事会を(一財)日本水産油脂協会1階会議室においてZoomを併用して開催した。

- ・本年度の研修会は一般財団法人日本水産会において勉強会とし、開催時期や内容について検討した。
- ・DHA・EPAの広報普及の一環としてパンフレットを作成することとし、その内容について検討した。

《2024年7月の魚油の輸入》

出典:財務省貿易統計

2024年7月			2024年1月～7月		
輸入量(トン)	金額(千円)	単価(千円/トン)	輸入量(トン)	金額(千円)	単価(千円/トン)
1,208	508,793	421.1	7,416	3,301,354	445.2

《魚油の国際価格》 (単位:US\$/トン)

出典:OIL WORLD

	2024年7月	2024年6月	2023年7月
Fish oil, any orig, cif N.W. Eur	4,750	4,950	5,325

<情報>チリ・ペルーの漁獲量 (単位:トン)

出典:iffo

	2024年第33週	2024年第32週	2024年第33週までの累計	2023年第33週までの累計
チリ	5,971	11,543	1,154,471	1,265,943
ペルー	0	0	2,618,948	808,033